

地域づくりインターン事業 活動報告

8月9日(木)～8月23日(木)

立教大学 観光学部 交流文化学科 3年

今 任 なつみ

【はじめに】

私は観光の勉強をしている学生として、今回のインターン事業に参加しました。大学では主に観光と関連のある事象や、観光に伴う社会への影響について学んでいます。実際に地域の方々と関わりながら働くことを



通して、観光が社会とどのように関わっているのかを学びたいと思います。今回の参加を決めました。美波町を選んだのは、個人的にカメが好きで、海の近くで暮らすことにも憧れていたことでもあります。それらを観光資源として生かすことについて学ぶことができると思っただけです。

【二週間の

インターンを終えて】

私は八月十日から二十一日まで、うみがめ博物館カレッタ・うみがめマリナクルーズ・産業振興課（観光案内所など）・薬王寺・お山の大将のそれぞれで一日（三日ずつ業務を体験しました。また、その期間中に



はホームステイという形で、「農家民宿クニ舛田」の舛田さんと、「茶房たにひょう」をされている谷さんのところに泊まらせていただきました。楽しかった、という言葉は相応しくないかもしれませんが、いろんなことを経験できてとても充実した毎日でした。そして、それらの経験や、たくさんの方から伺ったお話は、自分の財産として今後の人生に生かされると思いました。

【美波町への提言】

美波町への提言として私が一番強調したいのは、既存の観光資源をよりよく活用することです。毎年多くの参拝客が訪れる薬王寺や、海と山と川のすべてが素晴らしい豊かな自然は、美波町の大きな強みであると私は考えます。しかし、現状は旧日和佐地区のわずかなエリアだけが観光地として取り上げられているように感じます。例えば、観光のパネルフレットをみても、美波町全体にわたる観光を提案するようなパネルフレットはありませんでした。そこで私は、旧地区ごとではなく美波町全体における「自然体験」や「まちあるき」、そして最近のカメラ流行にあわせて「フォトポイント」などのコンセプトに沿った観光パネルフレットの作成を提案します。ただ有名などころを訪れるだけではなく、自身の興味や目的に沿った体験を含めて観光すること、美波町での旅行がより印象的なものになると思います。そして、コンセプト

を設定することが、それまでは注目されなかった場所や活動が新たな魅力を持つきっかけになることもあると思います。観光を通して美波町がより魅力的な場所になっていくことを、私は期待しています。

【最後に】

お世話になったみなさん、本当にありがとうございました。突然やってきた私が嫌な顔一つせず皆さんが受け入れてくださったことに、毎日感動していました。この二週間の経験を生かして、今後も将来に向けて頑張っていきたいと思います。絶対にまた遊びに来ます！

